

(令和2年8月試験研究業務月報)

試験研究課題名：新しい食べ方で消費拡大につながる伝統野菜の復活

研 究

「小さな京山科ナス」の効率的収穫に向けて

当センターが保存している京の伝統野菜の中から、新たなブランド品目を提案する試験を実施しており、平成30年度から「小さな京山科ナス」について検討しています。

これは、京山科ナスを30～40gの小ナスで収穫するものですが、ほ場で外観から収穫の可否を判定することは困難でした。

そこで、収穫した果実の直径（最大径）と果実重との関係を調査したところ、直径が32～37mmの範囲で、大部分の果実の重さが30～40gとなることが判明しました。この結果をもとに、収穫補助具を作成し、使用することにより、重さの揃った果実の収穫が可能になりました。

この「小さな京山科ナス」は、9月に野菜ソムリエから食材としての評価を受け、新しい食べ方を提案する予定にしています。



果実の直径と重さとの関係



収穫補助具と判定の様子